

経済の伝書鳩

〈日刊〉



木材買い取りや加工、供給施設の仕組み学ぶ

「つべつ木質バイオオマスセンター」

津別町が整備計画中

津別町が整備する津別町森林バイオオマス利用推進協議会「つべつ木質バイオマスセンター」が主催した。町は新エネルギーの導入、森林整備の促進を図る。17日、役場健康ホールで、9年度、センター整備に向けて着手。建設場所は遠美のペレット製造施設北西側の予定で、23年度の稼働開始を目指す。このうち、買い取りは「つべつウッドロスマルシェ」と題し、町民が誰でも木材を持ち込んで売却し、収入が得られる仕組みづくりを目指す。勉強会には町民ら約30人が加えオンラインからも参加。町職員がカラマツ材とそれ以外の木材、規格で異なる買い取り価格など、検討しているマルシェの仕組みを説明した。質疑応答も行われた。「自宅敷地内の木を切つて持ち込みたいが、自分で切ることはできない。どうしたら良いか」という質問に、町は「業者を紹介する。別途料金がかかるが、売却で相殺されれば、処理費用が安くなるイメージを」と答えた。

買い取りの「つべつウッドロスマルシェ」町民が木材持ち込み売却可能な仕組み目指す

このうち、買い取りは「つべつウッドロスマルシェ」と題し、町民が誰でも木材を持ち込んで売却し、収入が得られる仕組みづくりを目指す。勉強会には町民ら約30人が加えオンラインからも参加。町職員がカラマツ材とそれ以外の木材、規格で異なる買い取り価格など、検討しているマルシェの仕組みを説明した。質疑応答も行われた。「自宅敷地内の木を切つて持ち込みたいが、自分で切ることはできない。どうしたら良いか」という質問に、町は「業者を紹介する。別途料金がかかるが、売却で相殺されれば、処理費用が安くなるイメージを」と答えた。

備